

様式1

## 令和2年度 富山県公共事業再評価対象事業箇所一覧表

整理 番号	種別	事業名 路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	着手		再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)		進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
			完成	経過年数 残年数			R1まで	R2予定 R3以降残			
			経過年数				R2予定				
			残年数				R3以降残				
29	港湾	港湾総合交付金 伏木富山港(富山地区) 臨港道路西宮線 富山市千原崎～東岩瀬町	H28 — 5 —	再 【重点】	道路改良 延長800m、幅員9.5m 橋梁新設 1橋(100m)	2,430 98 — 2,332	4.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線は伏木富山港(富山地区)において、富岩運河等により東西に分断されたふ頭用地を接続し、効率的な貨物輸送や荷役作業が可能となるよう港湾計画に位置付けられた臨港道路である。</li> <li>本路線の整備により、輸送時間の短縮や輸送力の向上など、物流の効率化が図られる。</li> <li>当該計画区間は大規模な工場を有する企業敷地を通過するため、企業の理解や協力を得ながら慎重にルート検討や物件調査などの調査設計を進めてきたが、補償費が高額となったため、事業費が大幅に増大し、現時点では事業着手時に想定した投資効果が見込めない状況となった。</li> <li>このため、本事業については何らかの見直しが必要と考えている。</li> </ul>	当面 休止		

# 令和2年度富山県公共事業再評価調書

整理番号	事業名			路線名・河川名等			事業箇所		
29	港湾総合交付金			リンコウドコロ ミシハヤセン 臨港道路西宮線			トヤマシ チハラザキ ヒガシイワセマチ 富山市千原崎～東岩瀬町		
着手	完了	経過年数	残事業年数	再評価区分	総事業費(百万円)	前年度まで事業費(百万円)	R2事業費(百万円)	残事業費(百万円)	進捗率
H28	—	5	—	再評価	2,430	98	0	2,332	4.0%

全体計画

道路改良  
 延長 L=800m  
 幅員 W=9.5m  
 橋梁新設 1橋(L=100m)

事業費の単位は百万円、下段( )書きは前回再評価時の数値である

事業概要の説明

- ・本路線は伏木富山港(富山地区)において、富岩運河や泊地等により東西に分断されたふ頭用地を接続し、効率的な貨物輸送や荷役作業が可能となるよう港湾計画に位置付けられた臨港道路である。
- ・現在、東西のふ頭用地間の輸送は既存道路を利用して大きく迂回する非効率なものとなっているが、本路線の整備により、輸送時間の短縮や輸送力の向上が図られ、物流の効率化に寄与するものである。
- ・当該計画区間は、大規模な工場を有する企業数地を通過するため、企業の理解や協力を得ながら慎重にルート検討や物件調査などの調査設計業務を進めてきている。

1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
貨物量(公共岸壁のみ) (伏木富山港(富山地区))	トン	529,000 (H27実績)	649,000 (R1実績)	23.0%増加 (+120,000)
貨物量(中古車輸出状況) (伏木富山港(富山地区))	トン	179,000 (H27実績)	315,000 (R1実績)	76.0%増加 (+136,000)
交通量※道路交通センサス (415号 富山市千原崎地内)	台/日	19,336 (H22)	23,015 (H27)	19.0%増加 (+3,679)
交通量※道路交通センサス (富山港線 富山市西宮地内)	台/日	14,717 (H22)	17,748 (H27)	20.6%増加 (+3,031)
富山市萩浦地区人口	人	6,071 (H27.9)	5,845 (R2.2)	3.7%減少 (△ 226)
富山市岩瀬地区人口	人	3,541 (H27.9)	3,260 (R2.2)	8.0%減少 (△ 281)

自己評価内容

・伏木富山港(富山地区)公共岸壁の貨物量は、事業着手前年のH27では52.9万トンに対し、R1では64.9万トンとなっており、増加している。  
 ・周辺道路の自動車交通量は増加している。

評価結果  
 事業継続が妥当

2. 事業の投資効果

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
費用便益比(B/C)	—	1.6 (H27算出)	0.85 (R2算出)	減少

数値化が困難な事業効果

・荷役作業の効率化

自己評価内容	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細な物件調査を実施したところ、補償費が高額となり、事業費が大幅に増大することが判明した。</li> <li>・事業実施により輸送時間の短縮等、物流の効率化は図られるが、費用便益比が0.85(R2算出)と1.0を下回ることであり、現時点では事業着手時に想定していた投資効果は見込めない。</li> </ul>	何らかの見直しが必要

### 3. 事業の進捗状況、見込

全体計画			令和2年度まで整備済		未整備内容		令和2年度までの進捗率(%)	
主な工種(単位)	数量	事業費(百万円)	数量	事業費(百万円)	数量	事業費(百万円)	事業量ベース	事業費ベース
測量試験(式)	1	140	1	98	1	42	100.0%	70.3%
用地補償(件)	8	1,710	0	0	8	1,710	0.0%	0.0%
橋梁下部工(基)	2	100	0	0	2	100	0.0%	0.0%
橋梁上部工(m)	100	165	0	0	100	165	0.0%	0.0%
改良・舗装工(m)	700	315	0	0	700	315	0.0%	0.0%
合計	800	2,430	0	98	800	2,332	0.0%	4.0%

<p>残事業内容および今後の整備見込</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで測量設計や物件調査などを地権者である企業の理解や協力を得ながら進めてきたところであるが、補償費が事業着手時より大幅に増額となることが判明したため、用地取得に至っていない。</li> </ul>
---

自己評価内容	評価結果
用地取得に至っていないことから、事業が進む目途が立っていない。	何らかの見直しが必要

### 4. 今後のコスト縮減や代替案立案等の可能性(工法、計画の見直し等含む)

自己評価内容	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の代替ルートの検討を行ったが、実現可能なルートの中で現計画が最も経済的に有利である。</li> <li>・今回の算定した補償額は、企業側の協力を得ながらできる限り縮減している。</li> </ul>	何らかの見直しが必要

### 5. 関係機関との調整状況、他事業との関連など

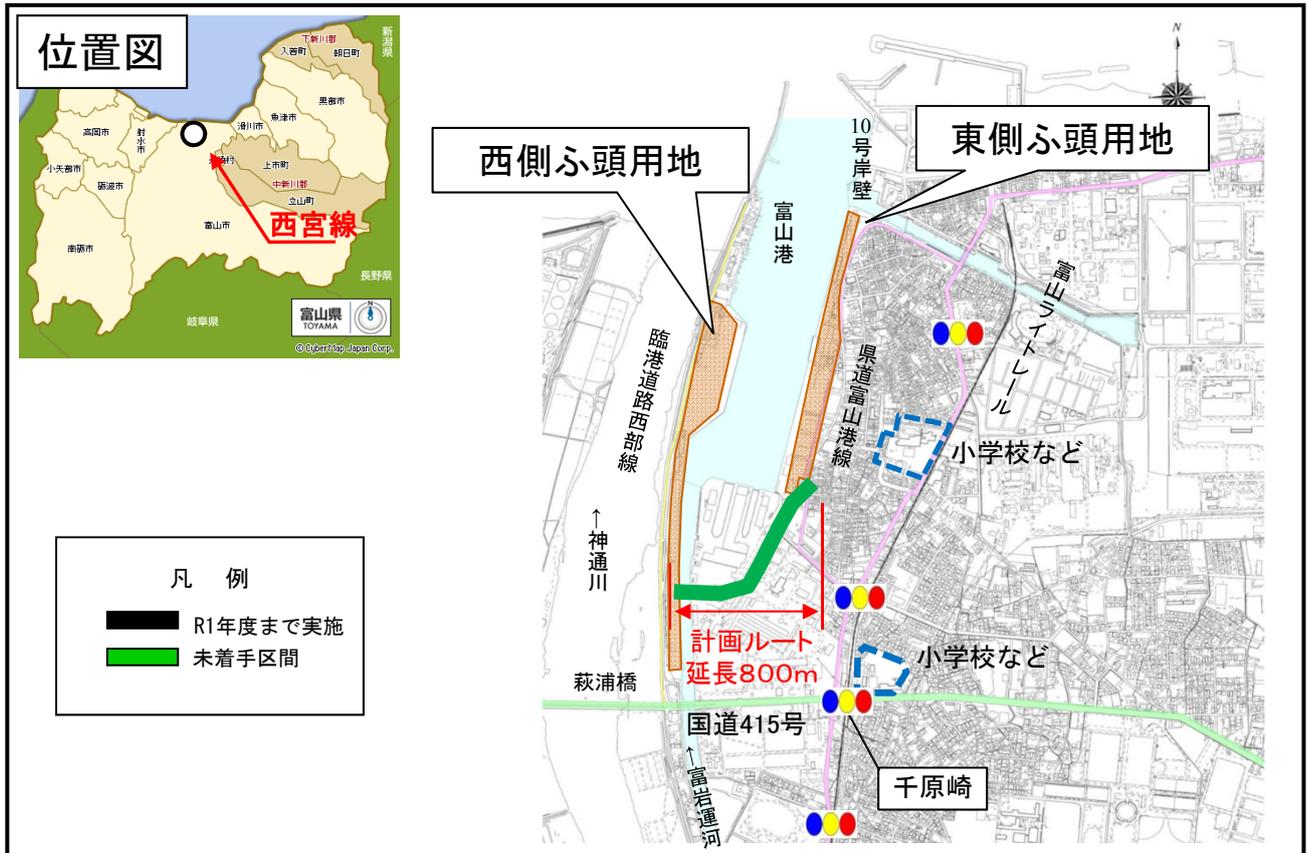
<ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾利用者(荷役業者、地権者、港湾利用企業等)に対しては、事業費が増大した経緯や代替ルートの検討結果等も踏まえ、現時点では事業着手時に想定していた投資効果が見込めない状況について説明している。</li> </ul>
---

### 6. 事業の緊急性(適時性)および事業を見直した場合に想定される影響

<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山港の現状を踏まえると、物流の効率化が喫緊の課題となっており、何らかの効率化策を講じる必要がある。</li> </ul>
---

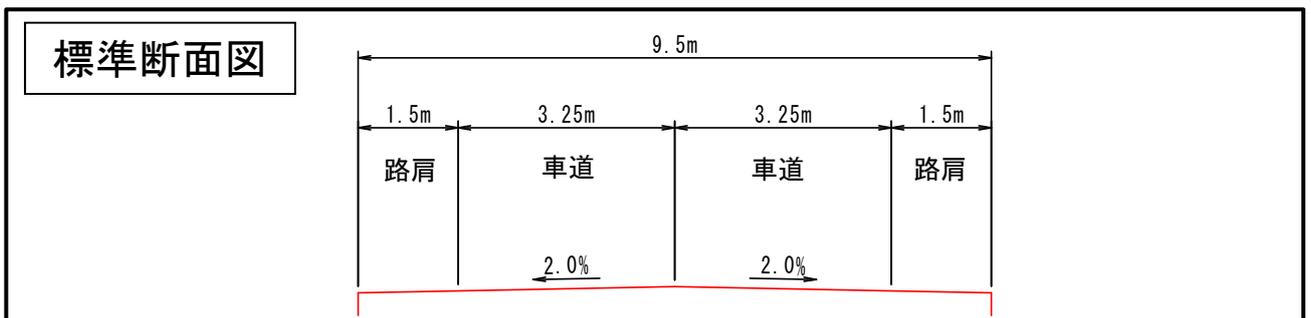
対応方針(案)	対応方針(案)の説明
当面休止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本路線は伏木富山港(富山地区)において、富岩運河や泊地等により東西に分断されたふ頭用地を接続し、効率的な貨物輸送や荷役作業が可能となるよう港湾計画に位置付けられた臨港道路である。</li> <li>・伏木富山港(富山地区)公共岸壁の貨物量は、事業着手前年のH27からR1にかけて増加している。また周辺道路の自動車交通量も増加している。</li> <li>・用地補償にあたり、詳細な物件調査を行ったところ、補償費が高額となり、事業費が大幅に増大することが判明した。費用便益比は1.0を下回り、現時点では事業着手時に想定した投資効果が見込めない。</li> <li>・複数の代替ルートの検討を行ったが、実現可能なルートの中で現計画が最も経済的に有利である。</li> <li>・以上のことから、本事業については何らかの見直しが必要と考えている。</li> </ul>

29 港湾総合交付金事業 伏木富山港(富山地区)臨港道路西宮線  
(富山市千原崎～東岩瀬町)



主な工種 (全体事業量)	事業区間延長 800m	R1までの進捗率	
		事業量 ベース	事業費 ベース
用地補償 (8件)	橋梁 L=100m   道路改良 L=700m	0%	0%
橋梁下部工 (2基)		0%	0%
橋梁上部工 (100m)		0%	0%
改良・舗装工 (700m)		0%	0%

令和2年度までの事業費 98百万円 ○残事業費 2,332百万円 ○進捗率4.0%



整備前の状況

